

《学校教育目標》 心豊かに 自分らしく生き抜く 子どもの育成



学校HP 二次元コード

地域や家庭で豊かな経験を！ 夏休みが始まります



1年生が種をまいたアサガオが、毎朝、大輪の花を咲かせています。いよいよ7月19日（土）から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。4月からこれまで保護者や地域の皆様には、たくさんのご理解やご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、学校では修学旅行や宿泊学習など予定していた大きな行事も無事、終えることができました。また、昨年度から継続している小田原市による民間施設を利用した水泳学習も定着してきました。

44日間の長いお休み。327人の子どもたちには、それぞれ地域や家庭にかえり、たくさんの「ひと・もの・こと」と出会い、様々な経験してほしいと願っています。地域の行事に参加する、本を読む、自然に触れる、お手伝いに挑戦するなどいいですね。

夏休みは、子どもが大きく成長するチャンスです。それぞれのご家庭で一人ひとりのお子さんとお話していただき、健康や安全に十分気を付けながら充実した時間を過ごしてほしいと思います。

9月1日（月）みんなが元気いっぱいの笑顔で学校に戻ってくることを待っています。



交通・防犯対策協議会

7月11日（金）交通防犯対策協議会を開催しました。自治会長や各地区の交通部長や防犯部長の皆さん、PTA会長、地区校外委員の皆さん、小田原警察署、小田原市役所保健給食課、地域安全課、道水路整備課、農政課の方々が、報徳小学校の児童の命を守るため参加してくださいました。地区校外委員さんが集めてくださった情報をもとに、通学路の問題点や防犯上の課題を出し合い、対策を検討しました。すべてが一度に解決…というわけにはいきませんが、子どもたちが安心してこの地域で生活できるように皆様のお知恵とお力を貸していただきながら、交通・防犯対策を進めていきたいと思っています。なお、今回の協議会で確認された危険箇所については、この後、学校から小田原市へ改善に向けたお願いを提出します。

併せて、子どもたちには安全な歩行や自転車の乗り方、ヘルメットの着用など、「自分の命は自分で守る」ことの大切さもしっかりと指導していきたいと思っています。

楽しかったね！おはなしの集い

6月24日（火）に、今年度も1・2年生を対象におはなしの集いがありました。

大型絵本『にゃ〜ご』大型紙芝居『ともだちや』大型ちぎり絵『はらぺこあおむし』の3つのお話を読み聞かせしてくださいました。歌や音楽にのせた『はらぺこあおむし』のクライマックスでは、大きな蝶が飛び出し、子どもたちから歓声があがりました。

本は、子どもの心の豊かな栄養となります。いつもより少し時間や気持ちに余裕のある夏休み。読書をしたり、読み聞かせをしたりして、お話の世界を親子で味わうこともおすすめです。



田んぼで見かけたら…

ジャンボタニシの卵に気をつけて！

学校やさくら連絡網でも注意喚起をしています。報徳ランドの米作りで世話になっている井上さんが、今年も市内の水田でジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の卵が大発生しているという情報をくださいました。濃いピンク色の卵には毒性があり、貝にも寄生虫が感染している可能性があるため、絶対に触ってはいけないとのことでした。

もともとジャンボタニシは、1980年代に食用目的で日本に輸入され、その後、放棄されたり養殖場から逃げ出したりして野生化し国内で繁殖したそうです。柔らかい葉を好んで食べるため、水田の稲にも大きな被害をもたらす病害虫なので、丹精込めてお米を育てている皆さんに、被害がないことを祈るばかりです。

小田原市のホームページにも詳しい情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。

編集後記：見守りをしてくださっている地域の方から、「最近、子どもたちがあいさつをしてくれるようになりましたよ。」とうれしいお話を伺いました。また、校務員さんからは、掃除中に子どもたちから「いつもありがとうございます！」と声をかけられうれしかったというお話も聞きました。昔のように週に1回朝会がないため、子どもたちに伝えたい出来事があったときには、昼の時間を使って放送で、校長の話として伝えるようにしています。報徳小の素敵な子どもの姿が、少しずつ広がっていくといいなと願いながらマイクに向かう今日この頃です。